街

道

中

学

校

区



四

街

道

西

中

学

校

事務局 青少年育成センター 電 話 043 (421)7867

たい更他後交をり和ル心危四た口て委起十 にこな学の換行し小をに険コ。 | の員点六九 うる区活会いて多行徒箇 | まル五とに時月 まと連や動でまの目い歩所スずが学P、よ十 し気携Pにのし情的、でやに、行区T他り六 た持をT生意た報室続パ公分参わ合A学四日 ○ち図Aか見 ○交をいト園か加れ同を区和へ をつとしを情換おて口をれ者まパ交補小金 新ての、今報会借四一中、はしトえ導を〜



、を労子の

いにしし達り

لح

うご

て校見域パがA小ル な情とをのト参・中と五 機報地出様口加他学は学 会を域し子し学校、区 と共が合をルて区の開合 な有一う見を行の先催同 りで体こて通い補生学パ きとと頂しま導・区ト するなできてす委P内口 ◇貴つ学意地 ◇員T各│

四と努心委上 しれす自 た危坂口皆周 すり下ずたい参 和思力で員の今まるか転イし険道|様辺こ 小いし街のた後しおさ車ヤま性とル方をの Pまてを皆めはた姿ずのホしを細さと経度 西Tす参歩様に教 ○に声高ンた再いせ共験は 塚Α ∘りくと、育 も掛校を ◦認路てに豊 実会 たよ同補力 感け生し 識地頂パか本 いうじ導向 動さにた いのきトな校

∘がさ活めつ加 り動にも者 本推をど感 ざ当進惜も想

> あいドる通中 口場のれ三西の十 りこ東こ量学意│所危てつ中参六十 まと側とも校見ルを険、の学加時月 しなのや多正交し重と徒コ校者よ十 たど防、く門換ま点さ歩|をでり四 °の犯グ危付会し的れでス起 ^二日 指灯ラ険近でたにて通に点四十个 摘がウでがは。パい学分に街九金 が暗ンあ交西 トる路か、道名〜



‡ 五

佐時



四午四午十二れパびがに等ナ学 街後街前一実まト構利 、、 一す本 ▜ 道三道九月施し口内用子健向る年 ↓ 時 ↓ 時十日た │ やすど全上子度 物か千か一時 ◦ル列るも育やども が車駅達成非も電 井ら葉ら日 村 ととにごし非とは +~ 実内周のを行達車 井 良 一金 施で辺多目防ので さの及く的止マ通

西ざましをこ参を気他ご加 し所路園 中いすて今の考指づ学意者情たを 、 、子参 学ま °い後ごに摘か区見よ報 ∘パ街交ど加 校しあきの意な頂なのをり交 ト灯通も者 区たりた活見りきい方頂た換 口の量達の ∘がい動、ま、こにきく会 一少のが感 、さで ルな多遊**想** う思生感た常な普まんは しいいぶり ま場道公 ごいか想。にど段たの参





しが新催街に た功堀さ道於四十 労義れ市い街・ 顕昭 ↑社て道月 彰氏当会 `市十 を ・市福第文五 受篠補祉三化日 賞﨑導大十セへ さ有委会六ン火 れ里員が回タ〜 ま氏の開四

千

代

田

中

学

校

区



旭たな見なえは旭思届な守し地しの心行実旭ルし施にの区会 課も対な決中いかりりて区た多安動感中にま設あ通内場吉参 学 題多応いし学まな、活いは。さ全範し学参し等る学及と岡加 校 だくが状て校しいな動る千吉をの囲、校加たを千路びし小者 必況安へた所かも地葉岡再たの子区し °パ葉 、旭、学の 原Ρ لح 感一要で全の。もな広域市・認め広どの、パト市す中同校感 名T 由A じ番と、と通特多か範でと鷹識のさも広改トロのぐ学小を想 ま重の早は学にい目囲、隣のし課、達さめ口 | 商近校学会 5 里会 し要意急言路、とのに見接台ま題安のをて│ル業くへ校議

有者見が、情の 々員か開時 で・を少旭報台 にとげ催よ き地頂な中交地 子しで校り どて無と吉 る域きく学換区 こがま危校会を も地事な岡 と情しなので三 達域にり小 はに終、学 は報たい通はコ 。、学、| 保交 見関了事校 行路初ス 守わし前に 護換 ららま準て 者を 動のめに にし 範安て分 れせし備行



たパ感勉れ拶まれ学ささは ま微徒でた車のを出参十 ∘ト想強、運して区れや、まし笑と出。で方校発加六十 ロをにP動たいのて車当たたま先会パパ々長し者時-┃ 頂なTの ∘る方いの学 ○し生つトトを先 ルきりA大先とかま危区情 い方たロロ含生三、り十 、まか切生のらし険で報 もの教 | | め方つ八三五 な有しらさか話はたさ歩交 の対えルル、、の木十日 が話子中し徒Pコ原五へ り意たはもらを整がが道換 あはの公ま歩TI小名火 ま義と大語は頂備、指の会 しなの変ら挨きさ他摘狭で り、生園しとAスをの~

千たて意をし しい学路整には のA神やい し始た ○参深参て他たる区の備走 \ 更意の社狭た日た後の秋参 りく考頂学 ∘かが話さり通に見方等い街頃 ◦すでの加 田 気いをれ去学他をかは陸灯か 中 `始**者** たパにき区 学 がか聞てつ路学頂ら他橋のら にパまの いトこ ・の 暗トり感 とロれ沢方 付にきいてを区きも学、な気 古校 く口で想 賀区 思しか山々 、ないすのま危区真いに き恵 なーもり 驚ま自いくれ方しなやっ街な いルらのに りルあ 淑 まをも意参 きれ分通車すかたいP暗並っ ま開 枝 しし注見加 まての学やれら。とTなみて







へへた連街 場 日参 。絡頭四 所 時加 協募街 議金道 メM十十数 会運市 ガ2二 も動社 プ月月三 協に会 ドラ十三十 力四福 ザ日日ー し街祉 へへ名 、道協 土土 木 活市議 動補会 テ し導主 ま委催 し員の

# | 街頭募金運動協力

## 



しいたてにがずでさ 見もにいすれ五き思のす強力らる礼しすにつ安いたに十ジ先とるた響童 研え達向 、るてつれい場 。すで自③儀い 。はの心子 。こ年を生思施 。の養次ま声 。く伝 、無どれ 修まはか帰子いのいのやこる生分他、生①五帰しどどのを払はう設皆杜護にしか少だえこ言うま 委し明っ路どま約に飾個の⑤きの人マ活早つるてもこ学か拭こではさ学施 ヽたけ年さたのでしし 員たるてすもす束整り人施質る夢をナを寝の家暮達に園けすのし暗ん園設千。を達いとこ立てた 。く手る達。は理付の設素④に思|す早約でらがもを平るよよくが」っ葉 しのとことちよ。 楽を私のこ壁整け部で倹ー向いをる起東すせ、行創成たうう寂イを千市 、巣のろを去い突 し振達幸こに頓が屋は約生かや身②きが。る少き設二めながしメ訪葉に 院立こ声院りか然 そるのせで掲さあに、す懸つりに挨規あこもし場し十構イ、い「ねみあ 澤 をちとか長ま分の 廣 う子バを生示れり思共る命てなつ拶則りのうでのま六想メ園所ジまらる 後をでけ先しかこ にどス願活さ、、い同で勉全がけ、正ま家一もなし年に | 長だすしい児 に願しし生たらと

## 

て持縛にとのを知種何 い達学学 た階 頂つら関が充受り類?そて障科総講 きこれし可実けまのかも」害准合師 まとずて能しれし障らそでの教福は しが、はでたばた害始もす現授祉松 た必柔、す人、。がま発 \*状、学浦 ○要軟固 ○生そ特あり達 と演部俊 だな定発をの別る 理題教弥 と視概達送人なこ様害 解は育淑 教線念障るな支と々と に「福徳 えをに害こり援をなは つ発祉大





した。 一月二十四日(火) 一月二十四日(火)

` しのとつ非智千

研

午育五十期年二

前成月九総補十

九セニ年会導九

平議市同

成**会青平** 

二定少成

□委年

員度

連四

絡街

協道

時 場

間所

時ン十

半タ日

よし、

二土

階〜

すもう

◦達ご

連千 絡葉 協県 議青 会少 理年 事補 研導 修

+

月

슾

補市 導内 委小 員学 P 校 Rで

活 動

地 会市 いもた職表し

今 後 **ത** 活 動 予 定



式九※ま見ルタ な知も補 介前おに に年大す守で方こりつ達導残をで借於四十 -B◦っ、のれまてが委念し補りい街ニ て子帰かしも多員なま導して道月 実月小 施十学 いど宅らたらくをがし委て きも時も ∘う、知らた員、終内十 し日校 まへは た達の登 良小ら の全業の二 し火平 いのパ下 い学なま 活校式全日 と安ト校 機生いだ 動児の小へ た〜成 ∘始二 思全口時 会に子ま と童場学木 いをしや 業十 どだ 紹のを校、 12

こ導ま足榛

と委し利名当

が員た学女市

でと◎校子か

きのま等学ら二

ま交たの園六十十

し流、見の名五四

たも他学視参日日

る補いび

∘深市を察加へへ

めの行及し金木

認守き況や報機見ごし内新セ子三 開加当千ト ましり来報か交会るすた等しンどコ合催で市葉セ千十し、続す告な換にこ子。をくタも一同さ隣か市ン葉ニた有けるを雰会なとど繁パな一交スのれ接らかタ市月 ○意る子行囲でりがも華トつ・流に補ま地はら|青九 こどい気はまで達街口た中館分導し域十二に少日 とも両の、しきのの「千央・か活た交二十於年へ 会を達市中終たる様中ル葉公ゲれ動 と再をを、始。良子でし駅園 | てで ◎流名七いサ金 会の名てポ〜 な確見行近和情いを過ま構・ム、は が参



千 隣葉 接市 域四 交 街 流道

#### 2階オープンスペースをご利用ください



集 ーい力せ員事口にた 後 緒ま頂すとの│参が にしいるし大ル加 記 見たた事で切です周 守。地がはさはるり つ今域で、を、事のり 報て後のき補と子が方ま初 委いも皆ま導てどで々すめ 四様し委ももきに う街、た員感達ま色分青 林と道あ ○のじのし々か少 千思のり 活ま安たとら年 絵い子が 動し全 ◎教な補 えい導

お広見

をざ協ら委るト事し

ご知報守パ仕ま

をたを 子まどと て事委 頂が員 き多に なくな が戸っ ら惑て 補う一 導事年 委もに 員あな

利☎問る書で十 開設クる 午 前 曜時四合と自グ未内し階でト少 日間三わが習ル満在てのきレ年 九 S 時 〜せでや<sup>│</sup>の住いするスの S き談プ方あま「場を皆 金 四 午 △曜 ま話ででるすプ所解さ すなもあい。ンと消ん 後祝日 五日 ヽれは スししが 七 時を に卓ば在 ペて、日 除 利球 \学 、リ頃 八 六 < 用や個の ス当ラ抱

す読人二

を施ツえ

少 年 育 成 セ ン ター か ら の お 知 ら

せ

り上り中補四 訂げま学導十 正ませ校委七 さすん区員号 せとでの一み てとし役覧ち 理副理 事理事四 代事 街 道 行

たに。名中る前詫

だ、おののべ回び

ま記び載街中行訂

すの申が道での**正** 

◦通しあ北、第

下詫記四の発と

北 目川岩中 黒東瀬学 雅知雄校 子也三区 氏氏氏